
HP Operations Smart Plug-ins DVD

for HP Operations Manager for Windows® 8.1x

リリース ノート

ソフトウェア バージョン: 9.00 / 2009 年 12 月

このドキュメントでは、HP Operations Smart Plug-ins DVD for HP Operations Manager (HPOM) for Windows の更新に関する情報を提供します。また、スタンドアロンおよびクラスタ環境でのライセンス情報、インストール、アンインストール、およびアップグレードの手順についても説明します。

[このバージョンの新機能](#)

[このバージョンで更新された機能](#)

[ドキュメントの更新情報](#)

[ドキュメント マップ](#)

[インストールについて](#)

[トラブルシューティング](#)

[コードの署名](#)

[ライセンス](#)

[既知の問題、制限事項、および回避策](#)

[サポート](#)

[ご注意](#)

このバージョンの新機能

このリリースには、以下が含まれています。

- **HP Operations Smart Plug-in for JBoss Application Server – 7.00**

HP Operations Smart Plug-in for JBoss Application Server (JBoss AS SPI) により、JBoss Application Server を管理できます。HPOM コンソールから、管理ノード上で動作している JBoss Application Server の可用性、使用、およびパフォーマンスを監視できます。JBoss AS SPI を HP Performance Manager などの他の HP ソフトウェアに統合し、統合グラフを生成することができます。これらのグラフは、サーバーの用途、可用性、およびパフォーマンスの傾向を分析するために使用されます。

- **HP Operations Smart Plug-in for BlackBerry® Enterprise Server – 3.10**

HP Operations Smart Plug-in (SPI) for BlackBerry Enterprise Server (BES) は、BlackBerry Enterprise Server を監視および管理するためのツールを提供します。SPI は BES に配布され、HP Operations Manager for UNIX にパフォーマンスおよびイベント情報を提供します。Windows 2003 および 2008 サーバーがサポートされます。SPI バージョン 3.10 では、IBM Lotus Domino メッセージング サーバーに接続している BlackBerry Enterprise Server もサポートされます。以下の機能拡張も行われています。

- ユーザー ベースのメトリックのパフォーマンスの向上
- コンポーネントの可用性に関するメトリックの追加
- HP Reporter ソフトウェアの詳細なサーバーおよびユーザー レポート

- SPI Upgrade Toolkit – 2.00

HP Operations Smart Plug-in Upgrade Toolkit (SPI Upgrade Toolkit) により、ポリシーのカスタマイズを維持したまま、HP Operations Smart Plug-ins を上位バージョンにアップグレードできます。このユーティリティのブラウザ ベースの対話型ユーザー インタフェースを使用して、SPI のアップグレード時に任意のポリシー設定を選択できます。

- Operations エージェント 8.53 および 8.60 (HTTPS) をサポート
- Operations エージェント 7.35 (DCE) をサポート
- Performance Agent 5.00 をサポート
- Performance Manager 8.20 をサポート
- HP Operations Manager i (HP OMi) 8.10 for Oracle、Microsoft SQL Server、Microsoft Active Directory、Microsoft Exchange Server、IBM WebSphere Application Server、BEA WebLogic Application Server、および BlackBerry Enterprise Server SPI をサポート

SPI を HP Omi で使用方法については、HP Operations Manager i 8.10 のドキュメントを参照してください。

このバージョンで更新された機能

以下に、個々の Smart Plug-in のこのリリースでの更新内容をまとめます。詳細については、各製品のリリース ノートを参照してください。

- HP Operations Smart Plug-in for Databases (Oracle、Microsoft SQL Server、Sybase、および Informix) - 12.00
 - Oracle SPI:フラッシュリカバリ領域 (FRA)、マテリアライズドビュー、およびストリームの監視
 - Microsoft SQL Server SPI:WMI パフォーマンス カウンタに基づく新しい複製ポリシーとログ ファイル監視の強化
 - Informix SPI:Informix Extended Parallel Server (XPS) 8.51 をサポート
- HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Active Directory - 7.00
 - Microsoft Windows 2008 Server Core をサポート
 - Microsoft Windows Server 2008 R2 (フル サーバー) をサポート
 - Microsoft Windows 2000 のサポートを終了
- HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Enterprise Server - 8.00
 - Microsoft Office Communications Server 2007 および 2007 R2 をサポート
 - Microsoft BizTalk Server 2006 R2 をサポート
 - 以下の Microsoft Server バージョンのサポートを終了
 - Microsoft BizTalk Server 2004
 - Microsoft Commerce Server 2002

- Content Management Server 2002
- Microsoft SharePoint Portal Server 2003
- HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Exchange Server - 13.00
 - SAN 環境で Microsoft Exchange Server 2007 をサポート
 - 以下の領域の監視およびレポート作成を強化
 - メール フローの遅延
 - 増加率が最も高いメールボックス
 - トランスポート エージェントおよびログ
 - Microsoft の推奨に合わせてしきい値を調整
 - Microsoft Exchange Server 2003 のサポートを終了
- HP Operations Smart Plug-in for SAP - 12.00
 - SAP NetWeaver 7.1 Java Monitoring
 - 3DES により JMX 構成のセキュリティを強化
 - SAP NetWeaver の複数インスタンスをサポート
 - SAP NetWeaver の Java スタックのサービス検出
 - SAP 4.6C のサポートを終了
- HP Operations Smart Plug-in for IBM WebSphere Application Server (JMX Metric Builder を含む) - 7.00
 - WebSphere Application Servers 7 の分散ネットワーク配布シナリオをサポート
 - ログ ファイル監視を強化
 - WebSphere Application Server バージョン 6.10 以降で PMI カウンタのサポートを終了
 - エラー ログ記録を強化
 - 検出および設定を強化
 - WebSphere Application Server の基本機能を監視するゴールデン メトリックを導入
 - JVM、EJB、スレッド プール、および接続プールのパフォーマンスを監視するメトリックを追加
- HP Operations Smart Plug-in for BEA WebLogic Server (JMX Metric Builder を含む) - 7.00
 - WebLogic Server 7.x および 8.1 のサポートを終了
 - WebLogic 10.x をサポート
 - エラー ログ記録を強化
 - 検出および設定を強化
 - WebLogic Server の基本機能を監視するゴールデン メトリックを導入
 - JVM、EJB プール、スレッド プール、およびサーバーを監視するメトリックを追加
- HP Operations Smart Plug-in for Oracle Application Server - 7.00
 - エラー ログ記録を強化
 - 検出および設定を強化
 - WebSphere Application Server の基本機能を監視するゴールデン メトリックを導入
- HP Operations Smart Plug-in for Web Server - 6.00
- HP Operations Smart Plug-in for BEA Tuxedo - 5.00
 - Linux SLES 10 をサポート
 - Oracle Tuxedo 10.0 をサポート
 - PeopleTools 6.5、7.1、8.0、8.1、9.0、9.1、および 10.0 向けに Tuxedo をサポート
- HP Operations Smart Plug-in for HP Storage Essentials SRM - 2.00
 - HP System Insight Manager (SIM Integration) での SPI への依存を解消

- HP Operations Smart Plug-in for IBM DB2 – 3.80
 - Novell SuSE Linux Enterprise Server 11 をサポート
 - RedHat Enterprise Linux 5.4 をサポート
 - IBM DB2 9.7 をサポート
 - リモート データベース監視をサポート
 - 表領域の状態に関するメトリックを強化
 - データベース接続および認証を強化
- HP Operations Smart Plug-in for PeopleSoft - 3.00
 - PeopleTools 8.50 をサポート
 - アプリケーション サーバーの監視を強化
- HP Operations Smart Plug-in for Remedy ARS - 4.00
 - Remedy ARS 7.5 をサポート
 - RHEL 5.1、5.2、および 5.3 で動作する Remedy ARS 7.1 および 7.5 をサポート
 - ARS API 7.1 の使用により、効率とセキュリティを強化
- HP Operations Smart Plug-in for SHS - 3.00
- HP Operations Integration for HP Systems Insight Manager – 1.70
- HP Reporter – 3.80
 - Reporter データのデータベースとして Oracle を設定する場合、Oracle ODBC ドライバのサポートされているバージョンを使用してください。9.2.0 データベースにアクセスするには 9.2.0、10gR2 データベースにアクセスするには 10gR2 を使用します。
- この SPI DVD は、DCE エージェントをサポートする最後のリリースです。

ドキュメントの更新情報

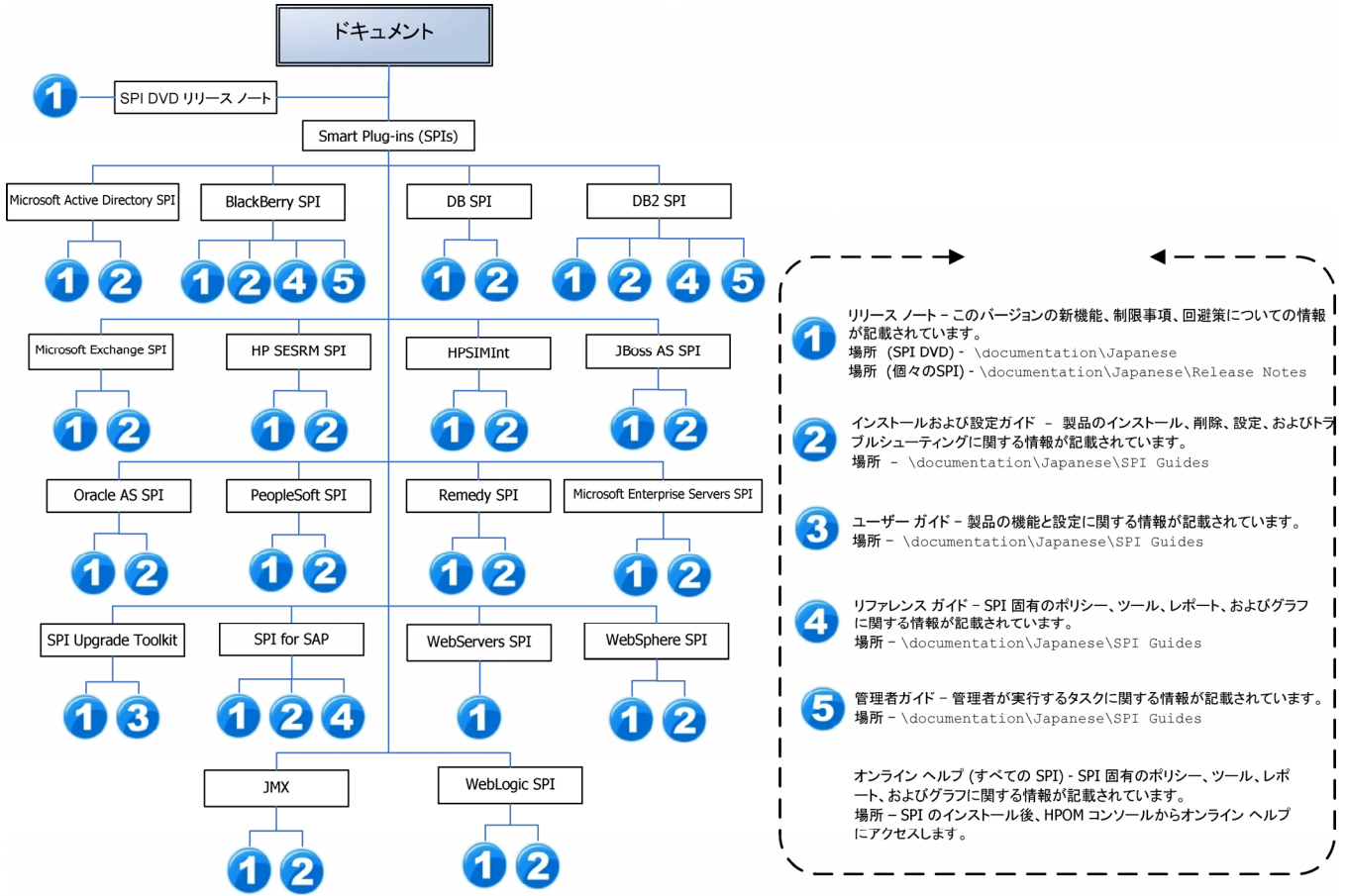
このリリース ノートの冒頭には、発行日が記載されており、ドキュメント更新の都度変更されます。

最新のアップデートのチェックや使用中のドキュメントが最新版かどうかを確認するには、以下の Web サイトをご利用ください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

ドキュメント マップ

以下のドキュメント マップは、各 SPI に関するドキュメントとそれぞれの場所を示しています。



- 1 リリース ノート - このバージョンの新機能、制限事項、回避策についての情報が記載されています。
場所 (SPI DVD) - \documentation\Japanese\Release Notes
場所 (個々のSPI) - \documentation\Japanese\SPI Guides
 - 2 インストールおよび設定ガイド - 製品のインストール、削除、設定、およびトラブルシューティングに関する情報が記載されています。
場所 - \documentation\Japanese\SPI Guides
 - 3 ユーザー ガイド - 製品の機能と設定に関する情報が記載されています。
場所 - \documentation\Japanese\SPI Guides
 - 4 リファレンス ガイド - SPI 固有のポリシー、ツール、レポート、およびグラフに関する情報が記載されています。
場所 - \documentation\Japanese\SPI Guides
 - 5 管理者ガイド - 管理者が実行するタスクに関する情報が記載されています。
場所 - \documentation\Japanese\SPI Guides
- オンライン ヘルプ (すべての SPI) - SPI 固有のポリシー、ツール、レポート、およびグラフに関する情報が記載されています。
場所 - SPI のインストール後、HPOM コンソールからオンライン ヘルプ にアクセスします。

インストールについて

この章では、すべての SPI に適用できる一般的なインストール手順を説明します。特定の製品の手順については、各製品のインストールドキュメントを印刷して参照してください。ドキュメントの名前と保存場所については、「ドキュメント マップ」を参照してください。

サポートされているプラットフォーム

最新のサポートマトリックスについては、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488>

このサイトを利用するには、HP パスポートへの登録とサインインが必要です。HP パスポート ID の登録は、次の Web サイトから行うことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> または、HP パスポートのログイン ページの [New users - please register] リンクをクリックします。

最新のアーカイブ済み廃止プログラムを確認するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

<http://intranet.hp.com/tsg/WW2/SWObsoMigrations/ObsoArchive/Pages/ArchivedObsoPrograms.aspx>

ソフトウェアとハードウェアの要件

Smart Plug-in (SPI) をインストールする前に、ご使用のシステムが以下の最小要件を満たしていることを確認してください。

- ハードウェア

管理サーバーのハードウェア要件については、HPOM for Windows のドキュメントを参照してください。管理ノードのハードウェア要件については、サポート マトリックス (SUMA) のリンクを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488>

- ソフトウェア

管理サーバー:

- HP Operations Manager for Windows:8.10 および最新のパッチ、または 8.16
- HP Performance Manager (Windows):8.20 (グラフを生成する場合に必要)
- HP Reporter:3.80 (Web ベースのレポートを生成する場合に必要)
- HP SPI SHS Component: 3.00
- HP Operations SPI Data Collector: 2.40
- HP Operations SPI Upgrade Toolkit:2.00 (SPIDVD を使用した SPI のインストール時に自動的にインストール)
- JMX Component (SPIDVD を使用した SPI のインストール時に自動的にインストール。BEA WebLogic Server、Oracle Application Server、IBM WebSphere Application Server、および JBoss Application Server のみ): 7.00

管理ノード:

- HP Performance Agent:5.00 (データのログ記録に HP Performance Agent を使用する場合、必須)
- HP Operations Agent (バージョン 8.53 または 8.60 (HTTPS) および 7.35 (DCE)) がインストールおよび設定されていること

メモ: Windows プラットフォームでは、最初の SPI のインストール時に SPI Data Collector および SPI SHS Component が自動的にインストールされます。

HPOM for Windows のパッチ

HPOM for Windows 管理サーバーのバージョン 8.10 を使用する場合、以下のパッチがインストールされていることを確認してください。パッチは以下の Web サイトにあります。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/patches>

管理サーバーおよび管理ノードのパッチ

OS: 管理サーバー	パッチ	バージョン	リリース日
Windows	OMW_00051	A.08.17	10/12/2009
OS: 管理ノード	パッチ	バージョン	リリース日
AIX	OMW_00043	A.08.60	8/25/2009
HP-UX 11 IA	OMW_00002	A.08.53	1/25/2009
HP-UX 11 PA	OMW_00008	A.08.60	8/25/2009
Linux	OMW_00041	A.08.60	8/25/2009
Solaris	OMW_00040	A.08.60	8/25/2009
Tru64	OMW_00007	A.08.53	3/04/2009
Windows	OMW_00044	A.08.60.1	9/15/2009

ローカル管理サーバーまたはコンソールへの SPI のインストール

ローカル管理サーバーに SPI をインストールするには、以下の手順を実行します。

- 1 HP Operations Smart Plug-ins DVD を管理サーバー システムの DVD ドライブに挿入します。
[HP Operations Manager – InstallShield ウィザード] が開きます。
- 2 [次へ] をクリックします。
[SPI リリースノートおよび他のドキュメント] ウィンドウが開きます。
- 3 [次へ] をクリックします。
[プログラムの保守] ウィンドウが表示されます。

メモ: 管理サーバーに SPI がインストールされていない場合、[プログラムの保守] ウィンドウではなく [製品の選択] ウィンドウが開きます。

- 4 [製品のインストール] チェックボックスを選択し、[次へ] をクリックします。
[製品の選択] ウィンドウが表示されます。
- 5 表示されたオプションから (3 つの [製品選択] ウィンドウがあります)、インストールする SPI に対応するチェック ボックスを選択し、[次へ] をクリックします。
[自動配布の有効化/無効化] ウィンドウが開きます。

メモ: 最新バージョンの SPI が既にインストールされている場合は、SPI のチェック ボックスが無効化されています。Reporter または Performance Manager がインストールされていない場合は、レポートおよびグラフ チェックボックスが無効化されます。

6 HP Operations Manager は、必要に応じてポリシーを自動配布します。自動配布機能が無効または有効にして、[次へ] をクリックします。

[使用許諾契約] ウィンドウが開きます。

7 [使用許諾契約書の条項に同意します] チェック ボックスを選択することによって、ライセンスの使用許諾条件に同意し、[次へ] をクリックします。

[プログラムを変更する準備ができました] ウィンドウが開きます。

8 [戻る] ボタンを選択すると、以前に選択した項目を変更できます。変更しない場合は、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。

メモ: インストールを開始した後、[キャンセル] を選択しても、インストール プロセス全体は中止されません。現在インストール中の製品 (ステータス領域に表示されている) のインストールのみが中止され、選択した次の製品のインストールが開始します。

9 インストール プログラムの進捗に伴って、ダイアログに表示されるステータスがさまざまに変化します。システムの処理速度やインストール対象のコンポーネントにもよりますが、インストール プロセスの完了までには数分かかります。

10 [完了] をクリックするとインストールが完了します。

SPI がインストールされます。

11 必要なすべての SPI のインストールが完了したら、各 SPI の『インストールおよび設定ガイド』の第 3 章を参照して製品を設定してください。

リモート コンソール システムへの SPI のインストール

リモート コンソールで、HP Operations Manager for Windows のコンソールのみバージョンのインストールを選択すると、Core Smart Plug-in パッケージを自動でインストールします。リモート コンソールで SPI DVD を使用して、自動でインストールされた SPI パッケージをアップデートすることができます。また、SPI DVD を使用して Core SPI 以外のコンソール パッケージをインストールすることができます。SPI DVD を使用してこれらのパッケージをアップデートするには、「リモート コンソールでの SPI のアップグレード」を参照してください。

メモ: HP Operations SPI for SAP console integration パッケージでは、以下の概要とは別のアップグレード手順が必要です。アップグレード方法については、『HP Operations Smart Plug-in for SAP インストールおよび設定ガイド』の「SPI for SAP のアップグレード」の項を参照してください。

HPOM クラスタ環境への SPI のインストール

前提条件

最初に HPOM 管理サーバー 8.10 および最新パッチ、または 8.16 をクラスタ内の各システムにインストールする必要があります。管理サーバーのクラスタ インストールが完了すると、Smart Plug-in のインストール準備は完了です。また、クラスタ内の各ノードに目的の Smart Plug-in をインストールするための十分なディスクの空き容量があることを確認してください。

クラスタ インストールの概要

以下の手順に従ってインストールを完了します。

- クラスタ内で最初にインストールする場合 (ノード A): 標準のインストール手順に従い、製品を選択します。ノード A へのインストールが完了したら、次のシステムであるノード B に進むように指示されます。

- クラスタ内にインストールする場合 (ノード B): 同じ手順に従います。製品を選択する必要はありません。インストール時にクラスタ設定が検出され、必要な製品選択情報がノード A からノード B にコピーされます。
- クラスタ内のノード C および残りのシステムにインストールする場合: ノード B と同じ手順に従います。製品を選択する必要はありませんが、インストールがすべて完了するまでインストール パッケージをノード B (既にインストールが完了したクラスタ内のシステム) からノード C (クラスタ内のインストール対象のシステム) にコピーします。

タスク 1: 最初のクラスタ対応の管理サーバーで、Smart Plug-in を選択してインストールします。

メモ: 開始する前に、目的の SPI をインストールするための十分なディスクの空き容量が各管理サーバーにあることを確認してください。インストール中にインストールをキャンセルすると、一部のコンポーネントだけがインストールされ、それらのインストール済みのコンポーネントを手動で削除する必要がある場合があります。

「ローカル管理サーバーまたはコンソールへの SPI のインストール」の項に記載されているすべてのタスクを完了し、次の管理サーバーのインストールに進みます。

タスク 2: 次のクラスタ対応の管理サーバーで、最初の管理サーバーへのインストールで選択した Smart Plug-in をインストールします。

以下の手順をクラスタ内の各管理サーバー上で繰り返し実行します。インストールがすべて完了するまで、次の管理サーバーでのインストールを続行するかどうかを確認するメッセージが表示されます (HP Operations Manager クラスタ インストールで定義されているとおり)。

- 1 HP Operations Smart Plug-ins DVD を管理サーバー システムの DVD ドライブに挿入し、表示される説明に従います。
- 2 インストールが完了したら、クラスタ内のすべての管理サーバーへのインストールが完了するまで、指示に従って次の管理サーバーに進みます。

メモ: HPOM コンソールは、クラスタ内のすべてのノードでインストールが完了するまで、正常に機能しません。

SPI のアップグレード

アップグレード プロセスの SPI 固有の手順については、各 SPI の『インストールおよび設定ガイド』の第 2 章を参照してください。

SPI Upgrade Toolkit を使用した SPI のアップグレード

SPI Upgrade Toolkit により、ポリシーに対して行なったカスタマイズを維持したまま、SPI を上位バージョンにアップグレードできます。SPI Upgrade Toolkit を使用して、SPI のアップグレード プロセスの実行中に、ポリシーのカスタム バージョンに対して行なった変更を保存できます。SPI Upgrade Toolkit は個々のポリシーについて 3 つのバージョン (基本、カスタム、およびファクトリ) の分析と比較を行ない、要件に応じて、基本、カスタム、ファクトリのいずれかのバージョンの設定を選択できるようにします。SPI Upgrade Toolkit を使用して SPI をアップグレードするには、『HP Operations Smart Plug-in Upgrade Toolkit User Guide』に記載されている手順に従ってください。

ローカル管理サーバーでの SPI のアップグレード

管理サーバーと管理ノードのロケールが異なる環境で Multilingual User Interface (MUI) 対応の SPI のインストールやアップグレードを実施する前に、以下の手順により管理ノード上でチェックボックス [自動配布の有効化] チェック ボックスをクリアしておきます。HPOM コンソールで [ノード] 下の管理ノードを右クリックし、[プロパティ] → [ネットワーク] をクリックします。これにより、異なる言語で重複したポリシーが自動配布されるのを防ぐことができます。

前提条件を満たしていることを確認: コンソールまたは管理サーバーで、HPOM 8.10 および最新パッチ、または HPOM 8.16 がインストールされていることを確認します。

製品版、評価版、および無償の SPI の場合: ライセンスを購入した SPI または無償の SPI をアップグレードする手順は、新規インストール手順と同じです。ただし、SPI のアップグレードに必要なインストール前の準備手順が詳細に説明されている SPI のドキュメントを参照した上でアップグレードを行ってください。必要な手順をすべて完了することで、不要なデータの消失を防ぐことができます。

メモ: Unix OS SPI および Microsoft Windows OS SPI は SPI DVD に含まれていません。

SPI をアップグレードするには、以下の手順を実行します。

- 1 SPI ソフトウェアをインストールします。「ローカル管理サーバーまたはコンソールへの SPI のインストール」の項を参照してください。
- 2 インストールした SPI のノード グループに新しいプログラムを配布します。
 - a SPI ノード グループを右クリックします。
 - b [すべてのタスク] → [プログラムの配布] を選択します。
 - c 配布するプログラム ファイルを選択します。
 - d [新しいプログラムを配布する前に、既存のプログラムをすべて削除する] チェックボックスが選択されていないことを確認します。
 - e [OK] をクリックします。

メモ: SPI for SAP console integration パッケージでは、上記の概要とは別のアップグレード手順が必要です。SPI for SAP console integration パッケージのアップグレード方法については、『*HP Operations Smart Plug-in for SAP インストールおよび設定ガイド*』の「SPI for SAP のアップグレード」の項を参照してください。

リモート コンソールでの SPI のアップグレード

HPOM をリモート コンソールで実行している場合は、以下のコンソールのみのシステムでの Smart Plug-in アップグレード手順に従ってください。

- 1 コンソールのみのシステムの DVD ドライブに、HP Operations Smart Plug-ins DVD を挿入します。
- 2 インストール済みのリモート コンソールが検出されたことを示すダイアログ ボックスが表示されるまで、画面の説明に従ってください。
- 3 [次へ] をクリックします。

インストールされている既存のパッケージすべてがアップグレードされます。

SPI の削除

SPI を削除する手順の詳細については、各 SPI の『インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

ローカル管理サーバーからの SPI の削除

DVD を使用する方法

DVD を使用して管理サーバーから SPI を削除する前に、手動で SPI コンポーネントを削除する必要があります。

SPI コンポーネントの削除

- 1 管理ノードから SPI ポリシーを削除します。
 - a コンソール ツリーで、[ポリシー管理] → [ポリシー グループ] を選択します。
 - b <SPI ポリシー グループ名> を右クリックし、[すべてのタスク] → [アンインストールする対象ノード...] を選択します。

ノード選択ウィンドウが表示されます。

- c ポリシーがインストールされているノードを選択します。
- d **[OK]** をクリックします。
- e ポリシーがアンインストールされたことを確認します。ポリシー グループの下の **[配布ジョブ]** でジョブの状態を確認します。次のタスクを開始する前に、すべての **SPI** ポリシーをアンインストールしておく必要があります。

他の **HPOM** ポリシー グループに属するポリシーをカスタマイズしている場合、そのポリシーも削除する必要があります。

2 管理サーバー上の **SPI** ノード グループを削除します。

SPI ノード グループを作成した場合、そのグループを削除する必要があります。

- a コンソール ツリーで、**[ノード]** → **<SPI 名>** を選択します。
- b ノード設定エディターを開きます。
- c コンソール ツリーで、**[ノード]** フォルダーを選択します。
- d 設定ツールバーのノード アイコン をクリックしてエディターを開きます。
ノードリストが表示されます。
- e 削除するノード グループの名前を選択し、**Delete** キーを押します。ノード グループを右クリックして、**[削除]** を選択することもできます。
[確認して削除] ウィンドウが表示されます。
- f **[はい]** をクリックします。
- g **[OK]** をクリックして、**[管理ノードの設定]** ウィンドウを閉じます。

管理サーバーからの **SPI** ソフトウェアの削除

SPI を削除するには、以下の手順を実行します。

- 1 **HP Operations Smart Plug-ins DVD** を管理サーバーの **DVD** ドライブに挿入します。
HP Operations Smart Plug-ins – InstallShield ウィザードが起動します。
- 2 最初の画面で、**[次へ]** を選択します。
[プログラムの保守] ウィンドウが表示されます。
- 3 **[製品の削除]** を選択します。
[アンインストールする製品の選択] ウィンドウが表示されます。
- 4 削除する **SPI** に対応するチェックボックスを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 5 進行に伴って表示される指示に従って削除を完了します。

SPI が削除されます。

メモ: **SPI** の削除プロセスには、いくつかの制限事項があります。制限事項の詳細については、個々の **SPI** のドキュメントを参照してください。

Windows の **[コントロール パネル]** → **[プログラムの追加と削除]** を使用する方法

管理サーバーから **SPI** を削除する前に、**SPI** コンポーネントを削除します。**SPI** コンポーネントを手動で削除するには、「**[SPI コンポーネントの削除]**」の項に記載されているタスクを実行します。

管理サーバーから **SPI** を削除するには、以下の手順を実行します。

- 1 **[スタート]** メニューから **[設定]** → **[コントロール パネル]** を選択し、**[プログラムの追加と削除]** (Microsoft Windows Server 2008 の場合、**[プログラムと機能]**) を開きます。

メモ: Windows のコントロール パネルを使用していずれかの SPI をアンインストールする場合は、以下の 2 つのアンインストール方法を使用できます。(1) 選択した SPI を削除する方法、または (2) HPOM for Windows を一括削除する方法。HPOM と SPI の両方を削除する場合は、最初にすべての Smart Plug-in を管理ノードから削除し、次に管理サーバーから削除する必要があります。その後、HPOM を削除します。

- 2 [HP Operations Smart Plug-ins] を選択して [変更] をクリックします。
- 3 ウェルカム画面で [次へ] をクリックします。
- 4 [製品の削除] を選択し、<SPI 名> を選択します。
- 5 進行に伴って表示される指示に従って削除を完了します。

SPI が削除されます。

クラスタ環境での SPI の削除

タスク 1: Smart Plug-in コンポーネントを管理ノードから削除する

「SPI コンポーネントの削除」の項にある「管理ノードからのすべての WebSphere SPI ポリシーの削除」の手順に従います。

タスク 2: クラスタ対応管理サーバーから WebSphere SPI を削除する

以下の手順に従って、クラスタ内の各システムから製品を削除します。

- 1 管理コンソールで、[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] (Microsoft Windows Server 2008 の場合、[プログラムと機能]) を選択します。
- 2 [HP Operations Smart Plug-ins] を選択して [変更] を選択します。
または
HP Operations Smart Plug-ins DVD を DVD ドライブに挿入します。
- 2 Smart Plug-ins DVD またはコントロール パネルを使用して、製品の選択画面に進み、クラスタ対応管理サーバー上にインストールされている <SPI 名> を選択します。
- 3 [次へ] をクリックします。
- 4 [削除] をクリックします。

メモ: アンインストールする場合は、アンインストールの指示に従って最後まで実行してください。アンインストールを開始した後、アンインストールをキャンセルすると、プログラムのコンポーネントを後で手動で削除する必要があります。

- 5 1 つの管理サーバーでアンインストールを完了したら、クラスタ内の次の管理サーバーに進みます。(アンインストールは、クラスタ内のどの管理サーバーから開始してもかまいません。最初のアンインストールが完了すると、最後の管理サーバーのアンインストールが完了するまで、次の管理サーバーに進むように指示が表示されます。)
- 6 クラスタ内の最初のノードから削除する <SPI 名> を選択し、そのノード上でアンインストールを完了すると、次のノードでのアンインストールを継続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。最初のノードで最初に選択した内容が、2 番目のノードから同じ Smart Plug-in を削除するために使用されます。

アンインストールが完了したことが表示されます。

トラブルシューティング

この項では、すべての SPI に共通するトラブルシューティングの詳細情報を提供します。

SPI が **64** ビット **HTTPS** エージェントを使用しているクラスタ ノードの監視に失敗します。**64** ビット **HTTPS** 管理クラスタ ノード上ですべてのポリシーが無効化されたままになります。この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

- 1 アクティブ ノードにログオンします。
- 2 コマンド プロンプトを開きます。
- 3 次のコマンドを実行します。
`ovconfchg -ns conf.cluster -set CLUSTER_LOCAL_NODENAME <ノード名>`
ここで、<ノード名> はノードのホスト名です。
- 4 次のコマンドを実行し、エージェントを再起動します。
`ovc -restart`
- 5 手順 2 から 4 をパッシブ ノード上で繰り返し実行します。

64 ビット **HTTPS** エージェントを使用しているクラスタ環境でフェールオーバーが起これば、検出されたサービスのサービス階層およびマップ ビューにアクティブ クラスタ ノードとパッシブ クラスタ ノードのエントリが重複して表示されます。この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

- 1 アクティブ ノードにログオンします。
- 2 コマンド プロンプトを開きます。
- 3 コマンド `ovconfchg -edit` を実行します。テキスト エディターで `hp.XplConfig.ovconfchg` ファイルが開かれます。
- 4 **INSTANCE_DELETION_THRESHOLD** プロパティを 1 (デフォルト値は 5) に設定します。
- 5 ファイルを保存します。
- 6 次のコマンドを実行し、エージェントを再起動します。
`ovc -restart`
- 7 手順 2 から 6 をパッシブ ノード上で繰り返し実行します。

これらの手順は、**Service Auto-Discovery** ポリシーをノードに配布する前に実行する必要があります。

SPI をアンインストールした後、管理ノードに配布されたままのポリシーがエージェントの「タイプ別ポリシー」フォルダーから検出されないことがあります。この問題を解決するには、手動でポリシーを削除してください。

コードの署名

Windows プラットフォームの **SPI DVD** はデジタル コードで署名されているため、**SPI** をインストールする前に信頼性と正当性を確認できます。デジタル署名されたコードにより、セキュリティの脆弱性リスクを管理できます。

必要に応じて、バイナリの署名を確認できます。バイナリの署名を確認するには、各管理ノードで有効なインターネット接続を確立し、以下の手順を実行します。

- 1 バイナリを選択します。選択したバイナリを右クリックし、**[プロパティ]** ウィンドウを開きます。
- 2 **[プロパティ]** ウィンドウで、**[デジタル署名]** タブを選択します。このタブに、バイナリが署名されていることを示す証明書が表示されません。証明書の詳細を表示するには、その証明書を選択して **[詳細]** ボタンをクリックします。
- 3 証明書を表示するには、**[証明書の表示]** ボタンをクリックします。

メモ: 証明書の有効期間やインターネットの接続速度などのさまざまな条件により、署名の確認に多少時間がかかることがあります。

何らかの理由で署名の確認を無効にするには、各管理ノードで以下の手順を実行します。

- 1 Internet Explorer ウィンドウで、[ツール] → [インターネット オプション] → [詳細設定] を選択します。
- 2 [発行元証明書の取り消しを確認する] オプションのチェックマークを外します。
- 3 [OK] をクリックします。

SPI のライセンス

SPI DVD には、製品版と無償の SPI が収録されています。ライセンスが必要な各 SPI は、ライセンスを取得しない場合は 60 日間使用できます。ただし、試用期間後も製品版の SPI を継続して使用するには、この期間中にライセンスまたはパスワードを取得する必要があります。無償の SPI を使用するには、ライセンスは不要です。

ライセンスのタイプ

SPI のライセンスには、以下の 2 種類があります。

- 試用 – 試用ライセンスの有効期間は 60 日間です。SPI ライセンスの試用期間は、SPI を初めて起動したときから開始します。
- 延長 – 試用ライセンスを延長することができます。延長試用ライセンスの詳細については、「[試用ライセンス/延長試用ライセンスの取得方法](#)」を参照してください。
- 永久 – 永久ライセンスでは、SPI の有効期間に制限はありません。

メディアの入手方法

- 試用版ソフトウェアを入手するには、以下の Web サイトをご利用ください。
<https://h10078.www1.hp.com/cda/hpdc/display/main/index.jsp>
- 正規のソフトウェアをダウンロードするには、以下の Web サイトをご利用ください。
 - SUM (Software Update Manager)
http://support.openview.hp.com/software_updates.jsp
SUM には ITRC (IT Resource Center) からアクセスできます。
<http://www.itrc.hp.com/>
SUM の登録やログインに関するチュートリアルは、以下からご利用いただけます。
<http://support.openview.hp.com/pdf/sso/index.html>
 - BTO ソフトウェア ダウンロード センター
<https://h10078.www1.hp.com/cda/hpdc/display/main/index.jsp>
- 物理メディアを入手するには
HP ソフトウェア営業担当にお問い合わせください (管理者にお問い合わせください)。

ライセンス キーの取得方法

SPI のライセンスを取得するには、**Operations Manager** のライセンス取得ツールを使用します。このツールを起動すると、必要なライセンスまたはパスワード情報を取得する方法が 3 通り表示されます。

- 方法 1 - ライセンス キーを取得/インストールする: **HPOM** コンソールからインターネットに接続できる場合は、ライセンスまたはパスワード キー情報に直接アクセスできます。また、使用しているサーバーに関する情報が自動的に検知されます (プロキシ サーバー経由でインターネットに接続している場合を除きます。プロキシ経由の場合は、プロキシ サーバーの **IP** アドレスを入力する必要があります)。
- 方法 2 - ファイルからライセンス キーをインストール/リストアする: **HPOM** コンソールからインターネットに接続できない場合は、この方法を使用して、ライセンスまたはパスワードを別のシステムから取得して、**SPI** をインストールするシステム上のファイルに保存します。**HP Web** サイトやサポート窓口から取得した情報を、**HPOM** コンソールがインストールされているコンピューター上のファイルに保存し、手順に従ってそれをインポートします。
- 方法 3 - 電子メール/FAX でライセンス キーを要求する: 希望する場合は、注文番号を記載した電子メールまたは **FAX** を送信し、電子メールまたは **FAX** でライセンスまたはパスワードを取得します。

ライセンスの取得とインストール

すべての方法での前提条件:購入した **Smart Plug-in** に付属のライセンス使用許諾書を用意します。この証明書に一意の製品注文番号 (**Product Order Number**) が記載されています。

いずれの方法を使用する場合でも、ライセンス取得ツールを使用して、以下の手順に従ってライセンスを取得します。

- 1 **HPOM** コンソールで、[ツール] → [Operations Manager ツール] → [ライセンス] → [ライセンスの取得] を選択します。
- 2 [ライセンスの取得] ダイアログで <製品名> を選択し、[OK] をクリックします。

プロセスが終了したら、パスワード使用許諾書 (**Permanent Password Certificate**) が添付された確認用の電子メールが届きます(この証明書には、発行されたパスワードまたはライセンス、および製品情報が記載されています)。使用する方法によっては、パスワードが自動的にシステムにインストールされます。

Web サイトからのライセンスの取得

前提条件: 購入した **Smart Plug-in** に付属のライセンス使用許諾書を用意します。この証明書に一意の製品注文番号 (**Product Order Number**) が記載されています。

- 1 **https://www.webware.hp.com** にアクセスします。
- 2 **[Generate New licenses]** ボタンを選択します。
- 3 「Generate license(s)」ページの **[Order number]** テキスト ボックスに、**SPI** の注文番号 (**Order Number**) を入力します (製品に付属のライセンス使用許諾書に記載されています)。
- 4 **[Next]** をクリックします。
- 5 表示されたページで、該当する製品名の隣のチェック ボックスをオンにし、**[Next]** をクリックします。
- 6 製品番号、製品名、バージョンが表示されたページで、以下の情報を入力します。
 - a **[Number of LTUs]**: 必要な **SPI** ライセンスの数
 - b **[IP Address]**: ライセン サーバーが動作するマシンの **IP** アドレス

c [Platform]: アプリケーションのライセンスを管理するコンピューター上で動作するオペレーティングシステム

7 [Next] をクリックします。

8 メンバー用のログイン ページで電子メールアドレスを入力し、既存または初回のパスワードおよびパスワード確認を入力し、[Sign-in] を選択します。

9 アドレス情報ページで、必要な情報を入力し、[Next] をクリックします。

10 Permanent Password Certificate (パスワード使用許諾書) のページで、証明書の上部のテキスト [Save password file for <製品番号>] をクリックします。

証明書とパスワードの保存場所: 保存された証明書の場所は、「<製品番号>.dat.asp」という名前のファイルです。パスワード使用許諾書 (Permanent Password Certificate) は、電子メール アドレスにも送信されます。インストールしたライセンス キーのデフォルトの保存場所は、以下のとおりです。 \\Program Files\CommonFiles\Hewlett-Packard\HPOvLIC\data\LicFile.txt

試用ライセンス/延長試用ライセンスの取得方法

一時ライセンス キーは評価目的でのみ提供されます。一般に、一時評価ライセンス キーは評価以外の目的では提供されません。

- 1 営業担当者から、承認された製品の評価リクエストを取得します。
- 2 承認と以下の詳細を、お客様の地域の電子メール ID に送信します。

お客様の名前:

お客様の担当者名:

製品名:

製品バージョン:

必要な試用/延長日数:

- アジア太平洋および日本: asia_password@cnd.hp.com
- 南北アメリカ: EvalkeyRequest_AMER@hp.com
- ヨーロッパ、中東、アフリカ: europe_password@cnd.hp.com

各 SPI のライセンス情報

このリリースの SPI DVD では、SPI は以前の階層ベースのライセンス方式に代わって、新しいインスタンス ベースのライセンス方式に従っています。新しいライセンス方式では、以下のタイプの LTU があります。

- Application Instance Advanced (A) ソフトウェア ライセンス
- Application Instance Advanced Non Production Development (A NP DV) ソフトウェア ライセンス
- Application Instance Advanced Non Production Fail Over (A NP FO) ソフトウェア ライセンス
- Application Target Connector ソフトウェア ライセンス:SPI でリモート アプリケーションを監視するには、ノードに SPI Target Connector LTU が必要です。

次の表に、各 SPI に必要なライセンスを示します。

製品	ライセンス番号	ライセンスの説明
HP Operations Smart Plug-in for JBoss Application Server	TB110AA/TB110AAE	HP Ops SPI JBoss AS Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB111AA/TB111AAE	HP Ops SPI JBoss AS Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB112AA/TB112AAE	HP Ops SPI JBoss AS Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	TB628AA/TB628AAE	HP Ops Target Connector JBoss AS Inst SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Oracle	TB059AA/TB059AAE	HP Ops SPI Oracle DB Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB060AA/TB060AAE	HP Ops SPI Oracle DB Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	TB061AA/TB061AAE	HP Ops SPI Oracle DB Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	BB169ZA/BB169ZAE	HP Ops Target Connector Oracle DB SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Microsoft SQL Server	TB062AA/TB059AAE	HP Ops SPI SQL Sv Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB063AA/TB060AAE	HP Ops SPI SQL Sv Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB064AA/TB061AAE	HP Ops SPI SQL Sv DB Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Sybase	TB065AA/TB065AAE	HP Ops SPI Sybase Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB066AA/TB066AAE	HP Ops SPI Sybase Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB067AA/TB067AAE	HP Ops SPI Sybase Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB170ZA/BB170ZAE	HP Ops Target Connector Sybase DB SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Informix	TB068AA/TB068AAE	HP Ops SPI Informix Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB069AA/TB069AAE	HP Ops SPI Informix Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB070AA/TB070AAE	HP Ops SPI Informix Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB171ZA/BB171ZAE	HP Ops Target Connector Informix DB SW LTU/ E-LTU

HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Active Directory	TB080AA/TB080AAE	HP Ops SPI Active Dir In A SW LTU/ E-LTU
	TB081AA/TB081AAE	HP Ops SPI Active Dr In A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB082AA/TB082AAE	HP Ops SPI Active Dr In A NP DV SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Enterprise Servers	TB089AA/TB089AAE	HP Ops SPI MS Ent Sv Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB091AA/TB091AAE	HP Ops SPI MS Ent Sv Inst A NP FO SW LTU/E-LTU
	TB090AA/TB090AAE	HP Ops SPI MS Ent Sv Inst A NP DV SW LTU/E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Microsoft Exchange Server	TB083AA/TB083AAE	HP Ops SPI Exchange Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB084AA/TB084AAE	HP Ops SPI Exchange Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB085AA/TB085AAE	HP Ops SPI Exchange Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for SAP	TB071AA/TB071AAE	HP Ops SPI for SAP Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB072AA/TB073AAE	HP Ops SPI for SAP Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB073AA/TB073AAE	HP Ops SPI for SAP Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB176ZA/BB176ZAE	HP Ops Target Connector SAP SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for IBM WebSphere	TB077AA/TB077AAE	HP Ops SPI WebSphere AS In A SW LTU/ E-LTU
	TB078AA/TB078AAE	HP Ops SPI WebSphere In A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB079AA/TB079AAE	HP Ops SPI WebSphere In A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB173ZA/BB173ZAE	HP Ops Target Connector WebSphere AS SW LTU/ E-LTU
HP Operations Smart Plug-in for Oracle Application Server	TB092AA/TB092AAE	HP Ops SPI Oracle AS Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB093AA/TB093AAE	HP Ops SPI Oracle AS Inst A NP FO SW LTU/E-LTU
	TB094AA/TB094AAE	HP Ops SPI Oracle AS Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB174ZA/ B174ZAE	HP Ops Target Connector Oracle AS SW LTU/ E-LTU

HP Operations Smart Plug-in for BEA WebLogic Application Server	TB074AA/TB074AAE	HP Ops SPI Weblogic AS In A SW LTU/ E-LTU
	TB075AA/TB075AAE	HP Ops SPI Weblogic In A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB076AA/TB076AAE	HP Ops SPI Weblogic In A NP DV SW LTU/ E-LTU
	BB172ZA/BB172ZAE	HP Ops Target Connector Weblogic AS SW LTU/ E-LTU

HP Operations Smart Plug-in for TIBCO	TB086AA/TB086AAE	HP Ops SPI TIBCO Inst A SW LTU/ E-LTU
	TB087AA/TB087AAE	HP Ops SPI TIBCO Inst A NP FO SW LTU/ E-LTU
	TB088AA/TB088AAE	HP Ops SPI TIBCO Inst A NP DV SW LTU/ E-LTU

HP Operations Smart Plug-in for HP Storage Essentials SRM	なし	無償、ライセンス不要
--	----	------------

HP Operations Integration for HP Systems Insight Manager	なし	無償、ライセンス不要
---	----	------------

HP Operations Smart Plug-in for Web Servers	なし	無償、ライセンス不要
--	----	------------

以下の **SPI** は、このドキュメントの作成時までは階層ベースのライセンス方式に従います。

HP Operations Smart Plug-in for BEA Tuxedo	B9152AA	HPOM SPI BEA Tuxedo Tier 4, LTU
	B7476AA	HPOM SPI BEA Tuxedo Tier 3, LTU
	B7477AA	HPOM SPI BEA Tuxedo Tier 2, LTU
	B7478AA	HPOM SPI BEA Tuxedo Tier 1, LTU
	B7479AA	HPOM SPI BEA Tuxedo Tier 0, LTU

HP Operations Smart Plug-in for IBM DB2	BA180AA	HPOM SPI IBM DB2 Tier 4, LTU
	BA181AA	HPOM SPI IBM DB2 Tier 3, LTU
	BA182AA	HPOM SPI IBM DB2 Tier 2, LTU
	BA183AA	HPOM SPI IBM DB2 Tier 1, LTU
	BA184AA	HPOM SPI IBM DB2 Tier 0, LTU

HP Operations Smart Plug-in for PeopleSoft	B9147AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 4, LTU
	B7452AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 3, LTU
	B7453AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 2, LTU
	B7454AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 1, LTU
	B7455AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 0, LTU

HP Operations Smart Plug-in for	B9147AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 4, LTU
---------------------------------	---------	---------------------------------

PeopleSoft	B7452AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 3, LTU
	B7453AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 2, LTU
	B7454AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 1, LTU
	B7455AA	HPOM SPI PeopleSoft Tier 0, LTU

既知の問題、制限事項、および回避策

このリリースには、未解決の問題や制限事項が含まれています。ここでは、いくつかの問題の解決に役立つ回避策について説明します。

- 制限:** 一部の SPI のライセンスレポートで、正しいライセンス数が返されません。これは、SPI の機能には影響しません。
- HP SPI SHS Component および HP Operations SPI Data Collector インストールメンテーション**
問題: SPI SHS Component 3.00 および HP Operations SPI Data Collector 2.40 でサポートされている新しいプラットフォームで、データ収集が想定どおりに機能しない。
原因: HPOM for Windows 8.10 または 8.16 上で、SPI DVD 2009 の SPI の インストールまたはアップグレードを行うと、SPI Data Collector および SPI SHS Component インストールメンテーションが 2 セット表示されます。
SPI Data Collector: SPI Data Collector (SPI DVD 2008) および SPIDataCollector (SPI DVD 2009)
SPI SHS Component: SHS Data Collector (SPI DVD 2008) および SHS_Data_Collector (SPI DVD 2009)
回避策: SPI DVD 2008 のインストールメンテーション フォルダを削除し、両方のコンポーネントで最新のインストールメンテーション (SPIDataCollector および SHS_Data_Collector) を使用します。
- 問題:** DCE エージェントを HP-UX PA-RISC または IA プラットフォームで使用している場合、メッセージが管理サーバーに転送されない。(CR ID:QCCR1A100069)
原因: メッセージ エージェントがバッファ処理を行なっています。
回避策: なし。DCE の代わりに HTTPS エージェントを使用することをお勧めします。
- 問題:** 既存のノード上で Windows DCE エージェントを HTTPS エージェントにアップグレードした後に、SPI 固有のデータが CODA にログされない。
回避策: 既存のノード上で windows DCE エージェントを HTTPS エージェントにアップグレードする前に、必要なホットフィックスをノードに適用する必要があります。DCE エージェントから HTTPS エージェントへのマイグレーションに必要なホットフィックスを入手するには、HP ソフトウェアサポートにご連絡ください。HP ソフトウェアサポート Web サイトからホットフィックスを入手するためのサポート ケースを登録いただけます。

サポート

次の HP ソフトウェアサポート オンライン Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/go/hpsupport>

HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに、素早く効率的にアクセスいただけます。HP ソフトウェアサポート Web サイトのサポート範囲は、次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポート ケースの登録とトラッキング
- エンハンスメント要求の登録
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェア カスタマとの意見交換
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

メモ: 一部を除き、サポートのご利用には、HP パスポートユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。アクセス レベルに関する詳細は、以下の Web サイト を参照してください。

http://www.hp.com/managementsoftware/access_level

HP パスポート ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.html>

ご注意

© Copyright 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

機密性のあるコンピュータ ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

他社のライセンス契約については、製品のインストール DVD-ROM の **spi-thirdparty-license-agreements** ディレクトリを参照してください。

HP 9000 コンピューターに搭載の HP-UX 10.20 以降および 11.00 以降(32 ビットおよび 64 ビット構成) はすべて、Open Group UNIX 95 ブランドの製品です。

Java™ は、米国における Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle® は、米国における Oracle Corporation (Redwood City, California) の登録商標です。

Oracle Reports™、Oracle7™、および Oracle7 Server™ は、Oracle Corporation (Redwood City, California) の商標です。

Windows NT® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows® および MS Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、すべての製品名に関する権利は、それぞれの登録商標または商標の所有者に帰属します。

We appreciate your feedback!

If an email client is configured on this system, by default an email window opens when you click on the bookmark "Comments".

In case you do not have the email client configured, copy the information below to a web mail client, and send this email to **docfeedback@hp.com**

Product name:

Document title:

Version number:

Feedback:

